

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	文化財施設課 課長 高木 明		
文財-08	実施事業	鎌倉歴史文化交流館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化財施設課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	文化財の保存、調査・研究、情報の充実	

1 事業の目的

対象	鎌倉歴史文化交流館
意図	市民等が鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産について学び、触れ合うことのできる場として、鎌倉歴史文化交流館を管理・運営する。
効果	市民等の歴史学習の環境をつくり、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産を未来へ継承する意識の醸成を図る。

2 平成30年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 子どもから大人までが、鎌倉の歴史的遺産・文化的遺産を学び、体験し、交流できる場として、鎌倉歴史文化交流館として運営した。 年間2回の企画展、各種講座・ワークショップ等を実施し、市民等の利用に供した。 市内小・中学校を中心に、約40件の学校関係対応を行った。また市内小・中学生用の年間パスポートを配布した。 庭園管理や施設管理業務等、公有財産の維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	71,940	57,601	当初予算(千円)	73,160		
	国県支出金	3,288	98	国県支出金	0		
	地方債			地方債			
	その他	17,640	4,096	その他	5,812		
	一般財源	51,012	53,407	一般財源	67,348		
事業経費運営	人員配置数	4.0	3.5	人員配置数	3.5		
	人件費(千円)	31,610	27,347	人件費(千円)	27,140		
	総事業費(千円)	103,550	84,948	総事業費(千円)	100,300		
	市民1人当りの経費(円)	587	482	市民1人当りの経費(円)	568		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー ・湘南工科大学 ・寺院等
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・子どもから大人までが、鎌倉の歴史的遺産・文化的遺産を学び、体験し、交流できる場として、開館から約2年を迎えた。今後より多くの方に活用していただくためにも、展示の改善・充実を図るとともに、様々な企画を実施する予定である。 ・貴重な建物や庭園の維持管理を今後も適切に行う必要がある。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・企画展に加え、夜間講座やワークショップ等、様々な催しを実施し、市民生活に寄与する施設として適切に運営している。 ・担い手として、国・県・民間等での実施も可能であるが、閑静な住宅街において近隣住民の方々の理解を得ながら適切に運営する必要があることから、当面は市の直営施設として管理することが望ましく、「関連・類似事業との統合」の可能性は無く、廃止による影響は大きい。 ・事業の方向性や手法は概ね適切であるが、市民等により親しまれる魅力的な施設となるよう、さらに鎌倉の歴史や文化に関する情報や、学習機会を提供するための展示や各種イベントの積極的な実施、学校教育・生涯学習事業との連携などに努めていく。 ・観覧料の導入等により受益者負担を実施している。また、関連団体との協働事業を実施している。	

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<p>周辺住民に配慮した開館時間等(日曜祝日等閉館、開館時間10:00~16:00)については、議会の付帯決議とされており、住民との話し合いの場を設け、日曜・祝日開館への取り組みを進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉国宝館と連携を行い、鎌倉の文化財の保存・活用、普及啓発に努める。 ・学校教育の場としての利用を促進する。 ・学芸員の公益性を高め、研究成果を発表できるようにする必要がある。 ・実現可能な鎌倉市の博物館基本構想を検討する必要がある。 	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民と鎌倉歴史文化交流館の日祝開館に向けた意見交換会を実施したが、賛同は得られなかった。 ・鎌倉国宝館との連携事業を4回実施した。 ・市内小中学校に国宝館及び鎌倉歴史文化交流館に利用可能な年間パスポートを配布した。 ・鎌倉市教育委員会と学芸員等とが情報を共有し、学芸員の自由活発な調査研究とその成果発表等の活動を保障するなど、学芸員等の業務の公益性を高め、活動推進に寄与するため、鎌倉市教育委員会学芸員等学芸員倫理基準を策定した。 ・学芸員等の研究成果を収録した、鎌倉市教育委員会文化財部調査研究紀要を刊行した。 ・鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討委員会を設置・開催した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民に配慮した開館時間等(日曜祝日等閉館、開館時間10:00~16:00)については、平成30年(2018年)9月に行った住民説明会において、多数の反対意見が示されたため、近隣住民に少しずつご理解をいただきながら、日曜・祝日開館への取り組みを進めていく。 ・鎌倉国宝館と更に連携を行い、鎌倉の文化財の保存・活用、普及啓発に努める。 ・学校教育の場としての利用を更に促進する。 ・鎌倉市にふさわしい博物館基本構想(案)を策定する。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	平成30年度(2018年度)入館者数(人)							
団体名	鎌倉市	鎌木清方記念美術館	川喜多映画記念館	鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム				
市内他館実績	19,000	22,444	22,385	次年度以降				
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	周辺環境への配慮のため、日曜・祝日閉館としている本施設の入館者数との単純比較は出来ないが、他文化施設と比較しても妥当と言える年間45,000人程度の来館を目標とする。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	(仮称)鎌倉歴史文化交流センターの設置						単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				平成29年5月に鎌倉歴史文化交流館として開館した。
市民等に親しまれる施設を目指し、展示製作業務、建物改修工事等を実施し、平成29年4月の開設を目指すため。	目標値	30.0	60.0	90.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	30.0	40.0	90.0	100.0	-					
	達成率	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	-					
指標の内容	学校対応回数						単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
学校教育の場や、児童・生徒の学習の場としての利用をさらに促進するため。	目標値	-	-	-	-	50.0	50.0				
	実績値	-	-	-	40.0	40.0					
	達成率	-	-	-	-	80.0%					
指標の内容	鎌倉歴史文化交流館入館者数						単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				平成29年5月開館
周辺環境に配慮しながら、適切な運営を行う上で、施設の有効性を把握するため。	目標値	-	-	-	60,000.0	45,000.0	45,000.0				
	実績値	-	-	-	23,238.0	19,000.0					
	達成率	-	-	-	38.7%	42.2%					
指標の内容	鎌倉国宝館との連携事業実施回数						単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
鎌倉国宝館との連携を行うことで、より鎌倉の文化財の保存・活用、普及啓発に努めるため。	目標値	-	-	-	-	10.0	10.0				
	実績値	-	-	-	-	4.0					
	達成率	-	-	-	-	40.0%					
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・開館準備期間を経て、平成29年(2017年)5月に鎌倉歴史文化交流館として開館した。 ・今後も周辺の住環境に配慮しつつ、市民等に親しまれる魅力的な施設となるよう、適切な運営・維持管理を行う。 ・魅力ある展示やその他の催しを企画し、積極的な広報活動を行うことで来館者の増加に努めていく。 										